

松総平第17号
令和6年8月30日

第29回松本市平和祈念式典実行委員 各位

第29回松本市平和祈念式典実行委員会
実行委員長 中田 景文

第29回松本市平和祈念式典及び平和の集いの反省等について（依頼）

残暑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年度の「第29回松本市平和祈念式典」及び「平和の集い」では、多くの市民の皆様にご参加いただき、平和について考え、学ぶ機会となりました。実行委員の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ではありますが、来年度の開催に向けて反省やご意見等を賜りたく存じます。

下記のとおりご回答いただきますようお願い申し上げます。

記

1 回答方法

下記いずれかの方法により回答してください。

(1) 別紙「回答書」の提出

FAX、電子メール（様式によらない回答でも可）、郵送のいずれかの方法でご提出ください。

(2) 下記回答フォーム（二次元コード）より回答

<https://logoform.jp/form/N7tm/712797>



2 提出締切

9月17日（火）

〒390-8620
松本市丸の内3番7号
松本市 総務部 平和推進課
担当 小沢
電話 33-4770（直通）
FAX 33-1877
メール heiwa@city.matsumoto.lg.jp

回答書

委員氏名 _____

1 反省及び感想

(1) 第 29 回松本市平和祈念式典

(2) 平和の集い

2 来年度開催へ向けての意見

※9月17日(火)までにご提出ください。

〒390-8620
松本市丸の内3番7号
松本市 総務部 平和推進課
担 当 小沢
電 話 33-4770 (直通)
F A X 33-1877
メー ル heiwa@city.matsumoto.lg.jp

第 29 回松本市平和祈念式典・平和の集いの反省等まとめ

1 反省及び感想等について

(1) 第 29 回松本市平和祈念式典

良かった点

・展示されていた写真パネルが、当時の様子を伝えてくれるとても衝撃的なものであった。改めて戦争による悲惨な状況は、あってはいけないと痛感した。

・資料の準備など、前年も経験のある委員の方が率先してやって下さりスムーズにでき良かった。受付の場面でも、来場者へのお声がけや来賓の案内の依頼なども前年経験のある方のリードで混み合う事もなくでき良かった。

・スムーズな進行だった。

・猛暑や台風の影響も受けずに開催ができて良かった。

・コロナ禍以前のように、市内各校の子どもたちによる折鶴づくりと献呈ができ、良かった。

・中学生の「平和への思い」の作文も、真摯に平和を求めるもので、良かった。

・「平和」と向き合う貴重な時間を頂けた。戦争の恐ろしさ、虚しさなどを後世にしっかりと伝えなければいけないと感じた。

・細かな点以外、流れもスムーズで全体的に大きな問題もなく良かった。

・簡単で良かった。

・スムーズな進行であり、内容も充実しており良い企画であった。

・式典の内容、時間とも良好だったと思う。

・献呈を含め、昨年より多くの市民の皆様に参加いただけたことは、戦争を知らない世代に語り継いでいく使命においては有意義なことだった。

改善点

・暑い時期なので可能な限り開式時間を早めた方が良いかと思う。

・受付が二つに分かれていたが、どちらに行っているのか分かりにくかったと思う。

・当日、折鶴の献呈についての質問が多かった。「式典開催前でも、終了後でも良い」ということを知っておきたかった。

・片付けの分担もあったが、実際には「やらなくて大丈夫です」と市役所の方に言われた。どうしてよいかわからない時間が結構あり、戸惑った。

・出席いただいた来賓の紹介はあっても良かった。

(2) 平和の集い

良かった点

- ・満蒙開拓の話は、ほとんど知らない事ばかりだったので、とても勉強になった。
- ・子供達にもわかりやすいようにお話下さり良かった。三行詩コンクールの表彰も一体感があり良かった。片付けも実行委員会のもと短時間で終了し良かった。
- ・満蒙開拓について、新たな認識をもつことができた。満蒙開拓には、被害と加害の両面があったことがよく分かった。
- ・終戦から 79 年となるが、寺沢館長さんのような取組みを、継続させなければいけないと感じた。
- ・参加者が多く、よかった。
- ・長野県民でありながら、初めて知ったことも多く、とても良い機会を得られた。
- ・身近にあった戦争について、知らないことがまだ多いと感じた。非常に良い企画だった。
- ・後世に伝えるために必要であると感じた。
- ・戦争と平和について、新たな視点、観点で見聞することができ、良い講演会であった。
- ・歴史は事実として正しく認知し、戦争に限らず民族間紛争や人権問題にも目を向け、今後、どのように寄与していくことができるのかを学べる機会であり、こうした体験が将来に向けた考え方や価値観を養えるものと願っている。

改善点

なし

その他

- ・戦争をやってはいけないということは基本であるが、どうしたら戦争を回避できるかに踏み込まないと同じ轍を繰り返すことになりかねない。半藤一利さんは「国民的熱狂を作り出してはいけない」と言ったが、その意味では情報統制が問題となる。信毎が満蒙開拓を特集しているがどのような思いがあるか聞きたい。

2 来年度開催へ向けての意見等について

- ・子供達の参加が増えれば良いと感じた。
- ・松本市立博物館での満蒙開拓の企画展示の案内があったが、「まつもと平和ミュージアム」や平和に関する案内を増やしても良いかと思った。
- ・三行詩の冊子が分厚すぎるように思う。レイアウトやフォントの変更などしてもう少しスリム化できると良いと思う。
- ・開催の継続をお願いしたい。
- ・平和について考え、学ばせていただいた。本年と同様の開催方法で良いかと思う。
- ・参加者は、児童生徒の親御さんはじめ、関係者がほとんどだったように見受けられた。一般の人が参加し、意識が高まるようなことを考える必要があると感じた。
- ・平和の集いでは、戦争についての語り部もどうか。
- ・将来に亘って継続した取組みを望む。
- ・「松本市平和都市宣言」を軸として、戦争だけではなく、命の尊さを実感し、明るく住みやすい都市づくりに関与するためにも、若い世代の多くの市民も参加できるよう工夫しつつ継続開催を望む。